

令和元年度 第1回沼津市立図書館協議会 議事録

日 時 令和元年7月30日(日) 午後2時00分 から 午後3時30分
場 所 沼津市立図書館4階 第3講座室
出席者 委 員 8名
 匂坂会長、高地副会長、佐藤委員、猪浦委員、露木委員、小島委員、
 神田委員、山本委員、(欠席：清水委員)
事務局 6名
 杉山館長、勝又事務長、望月事務長補佐、仲泊管理・事業係長、
 細倉図書係長、鈴木主事
傍聴者 報道関係：沼津朝日新聞 市 民：2名

1 協議会設置法令等について

配付資料に基づき、図書館協議会の設置根拠、役割等について説明

2 教育長挨拶

皆様におかれましては、昨年の8月から2年間、協議会委員をお願いしているところでございます。ちょうど中間点となりました。残りの任期につきましても引き続き、よろしくお願いいたします。

昨今、人口ロボット(AI)をはじめとして、技術革新、情報技術の目覚ましい発達や、市民のライフスタイルや価値観の多様化などから、図書館をめぐる環境も日々大きく変化しており、図書館の役割についても変わってきているところです。一人一人が心豊かに生活を送るには、学校教育だけでなく、学び続ける生涯学習の姿勢が必要であると考えます。市民の子どもから大人まで誰もが多様な価値観を持ち、感性や協調性を磨いて、自ら持っている可能性を大きく膨らめることができる、そんな環境が令和の時代には求められると感じます。

本市といたしましても、市民の多様なニーズに応えるために、ホームページやSNSなどのインターネットの活用や、地区センター図書室の整備、あるいは宅配、郵送貸出の推進、学校図書室との連携強化、様々なおはなしの会の実施など各種の事業を行っております。

今後とも、あらゆる世代が利用できる生涯学習の拠点施設として、より多くの市民の皆様へ、より便利に、身近に図書館を活用していただくためにはどのようにしたら良いのか、引き続き、慎重に検討していきたいと考えております。

委員の皆様におかれましても、今後の図書館運営につきましても、忌憚のない御意見をいただければと考えております。

本日は、よろしくお願いいたします。

3 会長挨拶

本日は、よろしく願いいたします。

4 委員及び図書館職員自己紹介

名簿順に委員及び職員自己紹介

5 案件（進行：匂坂会長）

（1）平成30年度利用状況及び自主事業について

事務局から配付資料に基づき説明

高地副会長： 図書館側からみて、一年間の数字から何か変化を感じるか。感じるとしたらどんな変化を感じるか。

細倉係長： 数字としては、図書館の入館者数は全国的に減少しているが、沼津市立図書館の特徴でいうと、一人当たりの貸出冊数は、計算上増加している。来館した際に、良い本があれば、貸出冊数は増加すると考える。選書に力を入れていきたいと考える。

高地副会長： 自主事業に人が来ていると説明があったが、図書館に求められているものが変化しているのではないか。図書館の幅が変化してきたのではないか。

仲泊係長： 図書館の柱としては、本の貸出と返却であるが、図書館に今まで無かったサービスやコンテンツをこれから探していく。

神田委員： 図書館の役割が変化してきているのを、数字からよく分かった。インターネットの発達で、レファレンスを利用者自身でできるようになってきたことなど。また、自主事業の内容のレベルが高いと感じる。数字ではわからないこともあるが、内容については上昇気味ではないかと感じる。

望月補佐： 発言の訂正で、一人当たりの貸出冊数が増加していると説明したが、貸出利用者が増加し、貸出冊（点）数が減少しているため、一人当たりの貸出点数は減少している。ただし、大きな減少でないと考えている。

（2）令和元年度資料整備及び自主事業について

事務局から配付資料に基づき説明

委員からの質問は特になし

6 報告事項

(1) 第二地区センター図書室の利用状況について

H31年2月にオープンした。これで整備予定の地区センター図書室の整備が完了した。蔵書数は、オープン当初約2,700冊であったが、昨日現在は2,858冊である。利用者のニーズに合った本を購入している。利用者からの評判もいいと聞いている。貸出者数はオープンから先週末までで2,849人となっている。

また、本年度から、地区センター図書室間で人気のある本などを他の図書室に回すなど、本の循環を始めた。

猪浦委員： 私も第二地区センター図書室を見に行ってきた。居心地が良い感じだが、本の数が少ないように感じた。建物の構造上の問題かもしれないが。

(2) 郷土資料（旧沼津宿本陣清水家旧蔵資料）の購入について

本年度、購入予定であった、旧沼津宿本陣清水家旧蔵資料について、概ね購入することができた。今後、準備ができ次第、公開していきたい。

(3) ボランティアルーム利用状況について

平成31年2月からグループ室1、2をボランティア団体の打ち合わせなどをするスペースとして開放した。2月から7月で20回の利用実績があった。少しずつだが利用頻度が増加している。

(4) 地方分権一括法の改正について

本年6月に公布された第9次地方分権一括法において、現在、教育委員会が所管している図書館等の公立社会教育施設が、首長部局に所管することが可能になった。これまでの社会教育はもとより、地域づくりやまちづくり、地域振興を付加することを可能にした。産業振興のための講習会や高齢者支援、子育て支援など幅広い運営が可能になった。当面、当市ではこれまでどおり、教育委員会が所管していくが、これからの新しい図書館を念頭に置いた図書館運営を行っていく必要がある。

(5) 新しい取り組みについて

今年度、4階講座室の利用について、利用条件の緩和を行った。教育文化、社会教育目的で利用してもらうという主旨に変更はないが、個人の活動の表現の場やコミュニティ活動などにも利用してもらいたいと考えている。

また、入館者を増加させるため、職員からアイデアを募集し、職員研修の場でプレゼンテーションを行った。現場の職員から、様々なアイデアの発表があったことから、これら提案を一つでも多く実行に移し、入館者増や職員の意識向上につなげていきたいと考えている。

(6) 図書館条例の一部改正について

消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、講座室、付属設備、戸田図書館の視聴覚室の使用料等の増額改正を行った。増額は10月1日から。

(7) 除菌ボックスについて

5月1日から本館1階エントランス付近に除菌ボックスを設置した。県内の図書館でも設置している。近隣では三島市が設置している。まだ使用率は低いが、今後、インフルエンザ等の感染症対策のために使用頻度が高まるのではないかと考えている。

(8) 大和市立図書館の視察及び第27回静岡県図書館大会について

令和元年9月5日(木)大和市立図書館の視察の案内

令和元年11月18日(月)第27回静岡県図書館大会の案内

(9) 12月の特別整理期間について

図書館システム更新のため、12月23日(月)から1月4日(土)まで休館とする予定である。

7 閉会